

緑のボランティア通信

2024.2.1

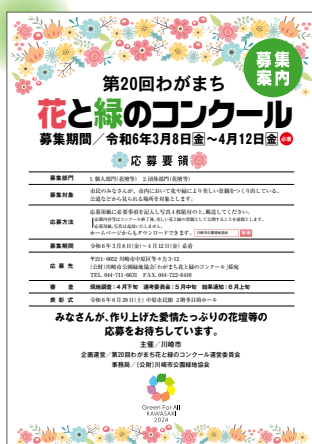
NO.89

第20回

わがまち花と緑のコンクール

応募期間 3月8日～4月12日

市内の花と緑による美しい景観を発掘し、それを創りだしている方々の活動を紹介し、市民の交流を深めることを目的に実施します。応募作品の審査は、市民による運営委員の現地調査や予備選考会を経て学識経験者等による選考委員会で決定いたします。団体・個人ともに入賞作品と大賞作品が選出され、その結果を6月29日（土）中原市民館で行われる表彰式で発表します。応募方法は応募用紙（区役所等配布、もしくは当協会HP）に必要な事項を記入し、写真4枚貼付の上、郵送ください。ぜひ、この機会にご自宅の花壇や、ご近所の素敵な花壇等をご紹介ください。皆さまのご応募をお待ちします。



ポスター及び応募用紙の
デザインが新しくなりました

応募用紙のダウンロードはこちら
当協会HP



目次

わがまち花と緑のコンクール募集	1
開催報告／お知らせ	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
いそろう植物のヒトリゴト	4

開催報告（8月～12月）

寄せ植え講習会

12月13日（水）及び14日（木）に川崎市総合自治会館で寄せ植え講習会を開催し、2日間で延べ48団体115名の方にご参加いただきました。今年も講師として「ことみどり」代表の山口吾子先生をお招きし、「小さな春の訪れ 梅の咲く風景に見立てた寄せ植え」をテーマに講義をいただきました。参加者の方も自分自身で作った世界に一つだけの寄せ植えに大変ご満足いただきました。



里山ボランティア育成講座「かわさきの森づくり」

8月久末小貝谷特別緑地（高津区）、9月菅馬場谷特別緑地（多摩区）、10月栗木山王山特別緑地（麻生区）、11月菅北浦緑地（多摩区）、12月久末イノ木特別緑地（高津区）で開催し整備活動を行いました。また8月は作業後に講義編で、市の施策や安全管理等を学びました。



作業前



作業後



講義編

こども黄緑クラブ

8月「セミの羽化観察会」、10月「地層観察会」、11月「生き物観察会」、12月「ミニ門松づくり（竹クラフト）」をテーマに自然体験教室を行いました。様々な昆虫や植物を発見・体験し子ども達はもちろん、保護者の方方も楽しめる会となりました。なお、2月は大人だけの自然観察会「大人編」の開催を予定しております。



10月「地層観察会」



11月「生き物観察会」



12月「ミニ門松づくり」

お知らせ

「緑の活動団体訪問・自己紹介コーナー」の掲載団体募集しています!!

設立〇周年の記念や、活動をもっとアピールしたい等とお思いの方は是非当協会までご連絡ください。

高石公園管理運営協議会 (2019年登録)

活動場所 高石公園 (麻生区高石4丁目30-6)

交通案内 小田急線「百合ヶ丘駅」下車 徒歩約12分



当会が活動している「高石公園」は高台にある公園です。昔この辺りは井戸水を掘るのにも苦労して「水をくれ〜」から水暮と名付けられ、私が加入している水暮町会の名前になったと、町会資料に記載があります。



再整備が行われる以前の公園は、斜面にイチヨウや杉、桜の木が何本もある自然のままの緑地のような場所でした。

2004年に当町会を含む3町会長相談の上で「高石公園管理運営協議会」が発足し、2005年に公園の再整備が行われました。整地により平場ができ、芝生広場、砂場やブランコ、2ヶ所の花壇も設置されました。



現在、芝生は枯れてしまい、当水暮町会がメインとなって雑草を毎月、刈り込み機なども使い、清掃美化をしております。

子供達の憩いの場となり、幼児の会なども定期的に利用しているようです。

会員も高齢になり夏の水やり、花がら摘み、道路の落ち葉清掃など大変とも感じますが、花壇に春、秋、近年は道路に面した法面にも、植えております。

道行く人がスマホで撮り、きれいですね、ご苦労様と声をかけられると、笑顔の会話が始まります。

(島田 由江)



白幡台第一公園管理運営協議会 (2022年登録)



活動場所 白幡台第1公園 (宮前区南平台13-7)

交通案内 川崎市営バス「南平」バス停下車 徒歩5分

私たちが活動している白幡台第1公園は、高台にある白幡台小学校に隣接していて、十分な広さがあり、のびのびと遊ぶことができるのが特徴の公園です。毎日様々な年齢の人が利用しています(太極拳・グランドゴルフ・コミュニティカフェ・公園まつり等々)。公園を利用した地域との交流の取り組みも行っています。

当会は町会や自治会等と、私が所属している「白幡ひまわりクラブ」が集まって運営されています。

私たちの花壇「フラワーガーデン」は、今から23年前、白幡台地域に住む10数名のメンバーで何か地域に貢献できることはないだろうかと考え、公園に花壇を作ることになりました。花壇グループ名を「白幡ひまわりクラブ」と命名して砂利の多い地面を掘り起こして花壇にしました。その時に行政からもらったトラックいっぱい土は、まだ宮前区の緑の事業が今ほど盛んではない時のことだったので、あまり良質のものではなかったです。

それでも、毎年肥料を混ぜ、絶やすことなく耕した結果、今では太いミミズが土を耕してくれるまでになりました。年3回ほどの植え替えは8名前後のメンバーで行うので、あっという間に終わりますが、広い花壇なので、植え替えのあまり必要のない、クリスマスローズやアジサイを植えるなど、工夫をしています。

毎年春にはチューリップがきれいに咲き、公園の桜の花とのコラボがとても綺麗です。花壇の作業をしていると「いつもきれいなお花をありがとう」「楽しみにしています」等、言ってくれる方々に励まされています。



年に一回の花苗支援や緑地協会からの助成金等のお陰で心配なく運営ができています。

これからは若手のメンバーを増やすことを心がけ、持続していけるようにしたいです。

今後も、公園から地域を明るくしていけるよう楽しく運営してまいります。

(佐藤 孝子)



いそろう植物のヒトリゴト

知らず知らずのうちに花壇に入ってくる、いそろう植物たち。
本コラムでは植物の特徴をふまえながら、彼らの「独り言」に耳を傾けていきたいと思います。



「クローバー見つけた!」って?
一緒にしないでほしいなあ〜。
ほら、クローバーだったら
葉っぱ閉じたりできないでしょ?

07 「カタバミ」

(カタバミ科・カタバミ属)

Oxalis corniculata

身近なところに自生する多年草でハート形の小葉が3枚まとまって付いている。夜になると葉を折りたたみ、片側が食べられたように見えるため「片喰（カタバミ）」と名付けられたと考えられている。葉を折りたたむ理由としては、光合成のできない夜間に昆虫や動物などに葉を食べられるリスクを防ぐなど諸説ある。また、日中でも強い日差しから水分の蒸発を防ぐため、葉をたたむこともある。

ボク ホンモノ
僕が本物のクローバーだよ。
4つ葉のクローバーを見つけたって?
では、次は5つ葉を探してみてね。
実は葉っぱの枚数によって
花言葉が違ふんだ!



08 「シロツメクサ」

(マメ科・シャジクソウ属)

Trifolium repens

クローバーとは、マメ科シャジクソウ属の総称であり、日本では、シロツメクサを指すのが一般的である。シロツメクサはヨーロッパ原産で、江戸時代に輸入船の荷物の隙間に緩衝材として詰められていたのがきっかけで日本に根付き、広まっていったと言われている。葉の枚数によって花言葉が異なり、三つ葉では「愛」、「希望」や「信頼」、四つ葉では「幸運」という意味がある。因みに、五つ葉は「財運」、六つ葉は「名誉」で、この先もある。

ペンネーム: きよすけ
(造園家・植物研究家)

植えてもいないのに生えてくる道ばたの小さな雑草たち。「雑草」とひとくくりにされてしまっていますが、そんな“いそろう”たちにも一つ一つに名前と生態があります。このコーナーではそんな植物たちをご紹介します。新しく始まったこのコーナーのご意見、ご要望をお寄せください。参考にさせていただきます。

発行・編集

(公財)川崎市公園緑地協会 緑の推進支援係

〒211-0052 川崎市中区等々力 3-12
電話 044(711)6631 FAX 044(722)8410
<https://www.kawasaki-green.or.jp>